

EVENT SCHEDULE イベント情報

学校説明会	授業見学説明会	校舎見学会	目白夕方説明会
4/26 [sun]・9/6 [sun]	6/9 [tue]・10/6 [tue]	6/13 [sat]	6/26 [fri]・10/23 [fri]
オープンスクール	十月祭	入試体験会	親子天体観望会
7/26 [sun]・8/22 [sat]	10/10 [sat]・11 [sun]	11/14 [sat]・12/5 [sat]	12/5 [sat]

※詳細はホームページでご確認ください(要予約)。
お車でのご来校はご遠慮いただいております。

イベント情報をメールにて配信いたします。予約サイトよりご登録ください。▶

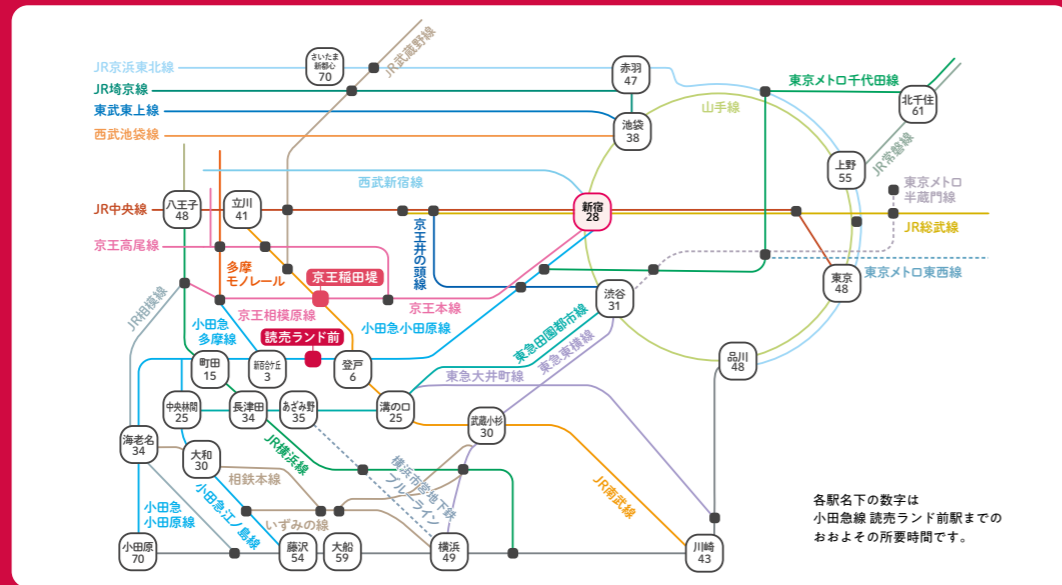


J W

GUIDEBOOK
2027



U



主要駅からの所要時間



- 小田急線 読売ランド前駅より徒歩約10分
- 京王線 京王稲田堤駅前 城下バス停よりバス約10分(生田折返場行き 女子大前下車)
(JR南武線稲田堤駅から城下バス停まで徒歩約7分)
- 京王線 京王よみうりランド駅よりバス約15分(寺尾台団地行き 女子大前下車)



 日本女子大学附属中学校
THE JUNIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1
TEL: 044-952-6705 (入試事務室)
FAX: 044-954-5450 E-mail: n-fuzokuh@atlas.jwu.ac.jp



日本女子大学附属中学校
THE JUNIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

THE JUNIOR HIGH SCHOOL
AFFILIATED with J.W.U.

CONTENTS

01	目次	14	特色ある教育	27	進路
03	教育内容	19	校外学習	29	卒業生メッセージ
05	6年間の見通し	21	自治活動	31	インフォメーション・アクセス/よくある質問
07	建学の精神/校長挨拶	23	クラブ活動	33	日女生の1日/年間行事/標準服
09	授業紹介	25	施設紹介		

HISTORY of

Japan Women's University

120年の伝統と叡智。 日本女子大学のあゆみ。

本校の創立者 成瀬仁蔵は、女子の生涯にわたる教育の意義と重要性を説いて、1901(明治34)年に日本女子大学校を開校しました。「自学自動」のことは、この創立時に唱えた教育方針であり、百余年を経た現在に至るまで本校の教育の根幹として受け継がれています。成瀬はその後幼稚園から大学院、さらに生涯教育の拠点となる「桜楓会」を発足させて、一貫教育の組織を完成させました。

こうして生涯をかけて伝え続けた教育の綱領として、「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の三つの教えを残しました。この三綱領は、生徒一人ひとりが日々その実践に努める教えであるとともに、卒業生の一生を照らす道しるべとなっています。



第3代校長 澁沢 栄一



110年前の実験の様子

三綱領

- 信念徹底 自己を見つめ
信念を確立する
- 自発創生 自発的な試みから
独自性が生まれる
- 共同奉仕 社会との交わりが
人を成長させる



創立者
成瀬 仁蔵

1858(安政5)年、周防国吉敷郡吉敷村(現在の山口市)の下級武士の家に生まれる。「人は平等である」というキリスト教の教えに感銘を受け、牧師や女子の中等教育機関の校長として奮闘する中、1890(明治23)年に渡米。1901(明治34)年4月、日本女子大学校を創設。



THE JUNIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

教育内容

EDUCATIONAL CONTENTS

個性を尊重し、人を総合的に育てる教育。

“学び”の真価は、一生涯にわたり輝き続けます。

基礎学力を重視した中・高一貫のカリキュラム体制。
バランスよく総合的、体系的に学ぶ。

女子校

「女子」フィルターがない自由な発想と行動力

附属校

恵まれた時間と環境がもたらす豊かな体験

探究心

発信する力

協働力

本物に触れる

自己の確立
Establishing oneself

対話力

自己実現

リーダーシップ

他者理解

創立者成瀬仁蔵が唱えた「自学自動」の精神は、中学校において「自ら考え、自ら学び、自ら行動する」という教育目標として生徒たちにも深く浸透しています。学校は単に知識を習得するだけの場ではなく、授業やあらゆる場面で、自分で考え課題を見つけて取り組み、みんなで話し合ってまとめた意見や作品を発表することで、さらに深い学びにつなげます。創立当初から脈々と続くこの学びの姿勢が自発的で主体的な生徒を育てていきます。一貫教育がもたらす豊かな時間の中で、アクティブに学び、バランスのとれた真の教養を身につけ、一人ひとりの中に眠る資質と才能を掘り起こし、一生涯生かせる教育。その真価は多くの卒業生の活躍が証明しています。

JUNIOR HIGH SCHOOL | 中学校

STUDENT'S VOICE

その気持ち、言葉で伝えて

本校での生活といえば、「言葉」です。感じたことや気持ちを、授業だけでなく人との関わりや自治活動などを通して考え続け、自分の言葉で表します。様々な場面で挑戦を重ね前進しつつも、自分に向き合い、時に悩む「停滞」があって初めて成長できると知りました。その考えたことを発信し受け止め合える環境も本校の誇れる点です。言葉で考えを表現し合うことで出会う、自分や友人の姿は何にも変え難いものになります。



HIGH SCHOOL | 高等学校

STUDENT'S VOICE

表現力の広がり

中学ではスピーチや、作者調べ、自治活動など様々な場面で、自分の考えを言葉や形で表す学びを重ねてきました。手書きで一から作品を構成し、言葉を選び取っていく経験は、高校での学びの土台になっています。高校では、情報と連携した化学のレポートや、ロボット研究クラブでの大会用ポスター制作に取り組んでいます。その中で、根拠や過程を意識しながら、伝え方を工夫する表現力が発展していくのを感じます。



6年間の見通し

THE 6-YEAR FLOW



JUNIOR HIGH SCHOOL | 中学校

HIGH SCHOOL | 高等学校



自分を知る

自分の意見を他者に発信する経験を積むことで、自分の考えを知っていきます。

Q 学びのPOINT

入学式、初めての国語スピーチ、自校教育、軽井沢三泉寮生活、アサーショントレーニング

他者を知る

他者と自分との違いを知り、客観的に自己・他者を見る眼を育てていきます。

Q 学びのPOINT

東北校外授業、国際理解教室、選挙に向けた話し合い、自治選挙

社会を知る

社会の中で生きる自分を想像し、他者と意見を共有していきます。

Q 学びのPOINT

年間研究、選択校外授業、キャリア教室、目白で学ぶ1日、金融教育、海外研修

自分を広げる

自分の考えを広げ、幅広い選択肢の中で、様々な事柄に触れていきます。

Q 学びのPOINT

全体ホームルーム、クラブ・研究グループの始動、八王子セミナー、学部・学科説明会

自分で選ぶ

自分の興味関心に向けて追究する場を選び、挑戦する意欲を育てていきます。

Q 学びのPOINT

軽井沢セミナー、行事の企画・運営、情報科連携授業、選択授業の開始

自分で歩み出す

幅広い視野で未来に向けて創造的に動き出していきます。

Q 学びのPOINT

地域研究・英語卒業レポート、理科探究、科目等履修生制度

中学校カリキュラム

1日の生活時間		
	夏季(4月~10月)	冬季(11月~3月)
	8:50 始業	
1~4時限	8:50~12:40	8:50~12:20
	昼食	
5~6時限	13:30~15:20	13:10~14:50
終礼・掃除	15:30~16:00	15:00~15:30
クラブ活動	16:00~	15:30~
最終下校	17:30	17:00

火曜日は8時40分から朝礼を行います。

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳・総合	書写
中1	4	3	4	3	2	2	3	2	5	1%	1%
中2	4	3	4	4	2	1	3	2	5	2	
中3	4	4	4	4	1%	1	3	2	5	1%	

*1クラス42名 クラス編成6クラス

2027年度より、教育環境が新しく変わります。
 ● 中高の教育体制を一体化し、より長期的な視点で生徒の成長に関わります。
 ● 新しいカリキュラムを導入し「週6日制」に移行します。

高等学校カリキュラム

教科	必修																選択		必修													
	国語	地歴・公民				数学			理科				保健体育		芸術			外国語	家庭	情報	選択A	選択B	総合的な探究の時間	ホームルーム								
科目	現代の国語 言語文化 文学国語 古典探究 地理総合 歴史総合 日本史探究 世界史探究	公共	倫理	数学I	数学II	数学A	数学B	物理基礎	化学基礎	生物基礎	物理	化学	生物	体育	保健	音楽総合	音楽I	美術I	工芸I	書道I	英語コミュニケーションI	英語コミュニケーションII	英語コミュニケーションIII	論理・表現I	論理・表現II	家庭総合	情報I	5科目選択	1科目選択			
高1	2	2			2	2			3	2	2	2	2		2	1	1				3			2			1					1
高2			2	2				2	2	4				3	2	1		2			3			2	2	1	2			1	1	
高3			2	1							2			2	3						3			1	2	8	2	2	2	1		

PHILOSOPHY of

THE JUNIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

自治と自由を重んじる、建学の精神。

「森の中の学校」といわれるように、日本女子大学附属中学校は自然が残る多摩丘陵の一角にあります。木漏れ日を浴びて登校し、鳥のさえずりを聞き、四季折々の植物に心を和ませる学校生活。「豊かな自然が豊かな人間性を育む」という生活を大切に守りながら、ゆとりある時間の中で一貫教育を実践しています。生徒たちが一步一步、自分の歩幅で成長する日々。その日々の喜びや感動、達成感を見守っている豊かな自然。

豊かな自然のもとで、生徒それぞれが「心」を育てていきます。



校長 野中 友規子

「在りたい私」で 未来を創る

「私は何者なのか」

—本校の生徒たちが学校生活を通して、常に自らに問い続ける言葉です。自分が何を求め、どう在りたいのか。授業でも行事やクラブ活動でも、自分の「核」となるものを探して創り出す日々を過ごします。この問いは、個々の活動のみならずクラスや学校全体で、価値観や立場の異なる他者と協働しながら何かを成し遂げようと努力する中、必然的に生まれる心の在り方です。試行錯誤する生徒たちに葛藤はつきものですが、その経験は大きく成長するための糧となります。考えを形にして、明確に相手に伝えることで対話は成り立ち、物事が動く。だからこそ、

言葉の力を磨くことが必要なのです。多様な自己表現を通して徹底的に自己と向き合い、「私」を耕し続ける力。友達と時間を忘れて話し合い、諦めずに最後までやり抜く力。生徒たちは柔軟なたくましさにあふれています。互いの存在を認め合い、議論しながら高め合っていく歩みが、日々の生活を彩り豊かに輝かせてくれることでしょう。人と競うのではなく、昨日の自分を超えるために学ぶ姿は、歓びに満ちています。森の中の学校から、しなやかな感性を持って「在りたい私」を見出し、自分の言葉で語れる人が、世界へと羽ばたいていきます。

国語 Japanese



感じる心を育て、
自ら表現する力を育む

毎時間のスピーチや1・2年生で行う複数教員による授業によって基礎的な文章力・発表力の向上を目指します。また、文庫本1冊を丸ごと使った授業によって作品をより深く理解する力を養い、己を見つめ、自己を発信し、他者を理解する力を培います。

数学 Mathematics



じっくり丁寧に考える、
論理的思考力の育成

生徒自らが考え、答えを導き出す過程を大切にしています。全学年で少人数授業を実施し、生徒一人ひとりの様子を見ながらきめ細かく指導をします。基礎学力を固めつつ、発展的な内容の演習も取り入れて数学的なものの見方、論理的思考力を養います。

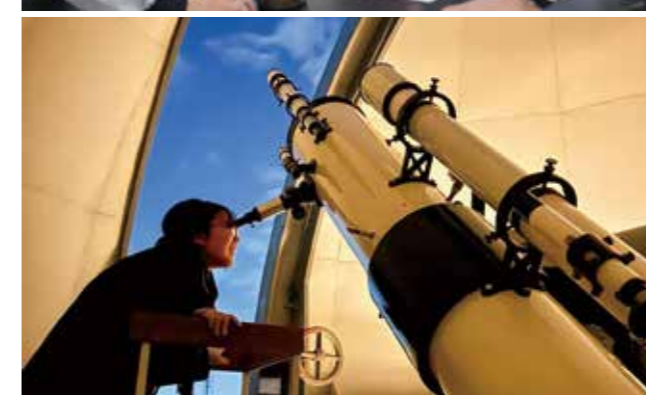
社会 Society



深く考え、本質を捉え、
社会を変える力を育む

授業では「なぜ?」「どうして?」を解き明かす過程を大切にし、校外学習をはじめ実物に触れる経験を通して自分の暮らす社会への興味関心を育みます。自ら問い、深く理解する経験の積み重ねから自らの考えを熟成し、社会に働きかけ、世界を変える力を養っていきます。

理科 Science



年間40回を超える実験・観察で
本物に触れる

毎回の授業を、中学生用の4部屋の理科室で行います。時には校地の森の中や理科棟屋上に出て行きます。少人数で実験・観察に取り組むため各々が自然と手を動かし「なぜ?」という疑問の解決に向けて一人ひとりが探究・考察をしていきます。

音楽 Music



美しい心を育むとき—「私の音」を探そう

声楽の授業では、歴史ある本校が歌い継いできた「行事の歌」の数々から本学への学びを深める時間を大切にしています。基礎から学ぶバイオリンの授業と共に、クラシック音楽をはじめとする有名曲に挑戦しながら、時間芸術の美しさに触れて「私の音」を探していきます。

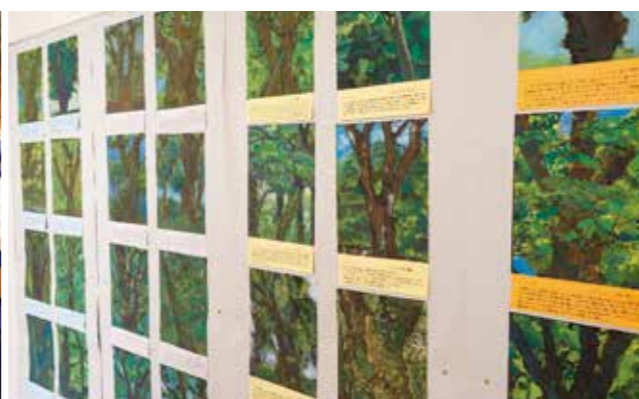
保健体育 Health and physical education



未来につながる心と身体の学び

3つの体育館と広大なグラウンド、温水プールを活用し、主体的に多様な種目に挑戦します。仲間と協力しながら運動会や球技会に取り組み、学年の垣根を越えて強い団結力を育んでいます。のびのびと体を動かす楽しさを大切に、生涯にわたり安心して運動に親しめる基礎力と心身の健康を育てていきます。

美術 Art



自ら見つける「新しい自分」

美術の授業では、小さな判断が積み重なり新しい作品が生まれます。3年間で様々な素材・技法を用いて制作を行い自分の手をとおして得た経験は、新たな創造の世界を広げる糧となり、「新しい自分」を見つけることに繋がっています。

技術・家庭科 Technology/Home Economics



自分だけの学びと生活をつくる

あじの三枚おろしや小麦粉の調理実験、割烹着製作、身の回りの困り事を解決するプログラミングなど多くの実習を通して、一人ひとりが試行錯誤し、自ら考える学びを大切にしています。確かな技能を身につけて選択肢を広げ、自分らしく生活を工夫する力を育みます。

英語 English



英語の礎を築き、
思考と表現を深める

中学校では、検定教科書に加え名作読書やプレゼンテーションを通して、4技能をバランスよく育てます。朗読劇やテーマに沿ったライティング、SDGsを題材にした活動で実践力を養い、英会話や約1800語の単語学習にも取り組みます。英検は本校を会場に2級まで受検機会を設けています。



STUDENT'S VOICE

一生ものの知恵

本校の授業は、「一生ものの知恵」を教えてくれる存在だと感じています。例えば、国語では文庫本を用いて、理科の生物分野では学校所有の広大な森林でのフィールドワークを行うなど、本物に触れることで、単に知識を頭に入れるだけではない発展的な学習ができています。また、数学や英語でのコース選択のように、自由度が高いことも特徴です。このような本校ならではの授業体制により、積極性や思考力があって、社会で活躍できる人材が育成されていくのだと思います。



■ グローバル教育

海外での研修をはじめ、多様な視点で国際理解教育を進めています。



ニュージーランド ターム留学

中学3年の1学期にニュージーランドの現地校に通います。親元を離れホームステイをしながら過ごす2か月間は、語学力の向上だけでなく精神的にも大きく成長する機会となっています。(学内選考、奨学金制度あり)

イギリス・カナダ 語学研修

中学3年の夏休みに希望者を対象にイギリスのチェルトナムレディースカレッジのサマースクール、カナダでの語学研修プログラムを実施しています。寮生活やホームステイをとおして語学力を磨き異文化理解を進めます。



国内語学研修

中学1年次には校内でアクティビティを行いながら実践的に英語を学ぶ2日間の集中講座、2年次にはTokyo Global Gatewayを訪れて国内で英語を学ぶ機会をもっています。

国際理解教室

本校では、学園全体でアフガニスタンの女子教育支援に携わってきたこともあり、中学2年でアフガニスタン出身の医師の方の講演会を行っています。また、国際支援の最前線にいる方を講師に迎えお話を伺います。

留学単位認定制度

AFS・YFUの2団体を通した年間派遣留学において、校長推薦を得た生徒は留学中の32単位を包括的に認定します。この制度を利用することで、出発前と同じ学年に復学することができます。年間、数名の生徒がこの制度を利用しています。

■ 探究学習

社会で必要とされる「書く力」の基礎を身につける。

本校オリジナル教科書「ライティングリテラシー」を使用し、「テーマ」の概念から、図書やWebの検索方法、インタビューやプレゼンテーションの仕方など「レポートの書き方」を体系的に学びます。3年では中学校生活の集大成となる「年間研究」に取り組みます。



年間研究

テーマは自由 3年間の集大成

3年間の学びの集大成として、1年間自分で研究を進めていきます。自ら選んだテーマだからこそ、興味を持って取り組むことができ、新たな課題も見えてきます。毎年3学期には、すべての生徒の研究成果が3年生のフロアに展示されることで、お互いの成長を感じるとともに、下級生たちにも刺激を与えています。



学びのハブ「図書室」

蔵書50,000冊が探究の土台

本校は「私への探究」と「学問への探究」に溢れています。探究過程には、新しい気付きにつながる「出会い」と学びを深める「スキル」が必要です。図書室は、授業に散りばめられた探究的な学びと連携し、課題に合わせた「出会い」の提供、情報収集・情報活用に必要な「スキル」の育成、生徒の探究過程に寄り添うサポートを行います。国語科では作者像を考察し、社会科では既知の学習を発展させる課題に取り組みます。東北校外授業では、現地の学びを深いものにするため事前学習を行います。日常的な探究の経験が、3年生の「年間研究」へと繋がっていきます。



■ ICT教育

主体的に学ぶ環境を整え、学びの可能性を広げる。

生徒は中学1年次4月よりiPadを所有し、効果的に学習を進めていきます。情報を収集し、それらの情報をまとめ、発信する力を養っています。授業での使用、校外授業での利用も含め、様々な場面でiPadを活用しています。生徒同士でのアイデアの共有が容易にできるようになったことで、協働学習の一助にもなっています。



NPO連携

NPO法人みんなのコードと「教科横断的な情報活用能力の育成に関する連携協定」を締結し、2023年から情報分野の授業においてカリキュラム開発のサポートを受けています。テクノロジー分野のジェンダーギャップを解消すべく「女子校」というフィールドで様々なプログラムを展開しています。近年は、生成AIを授業で扱い、仕組みの理解をした上で、どう活用すべきか、情報以外の教科やクラブ活動・自治活動にも取り入れながら実践的に学んでいます。



希望者対象 特別プログラム

技術家庭科における情報分野の授業時数が限られているため、より発展的に学びたい生徒を対象に特別講座を実施しています。これまでに3Dプリンタやレーザーカッターを利用して創作を行う講座や、Pythonを用いたプログラミング講座、Webサイト作り、アプリ開発講座などを展開しています。また、長期休みには企業訪問を行いながら、社会で活躍する大人の目線から情報活用能力や課題解決能力を育む機会を設けています。

デジタルファブリケーション機器の導入

LEAF_Labには、3台の3Dプリンタとレーザーカッターを導入し、デジタル技術を用いてモノ作りができる環境を整えています。STEAM教育の実践として、頭の中にあるアイデアをデジタルデータとして組み立て、それを「形」に表現していくことは、「デジタル×アート」の入口です。授業や特別講座での活用だけでなく、クラブ活動などでも生徒は自由に使用することができます。



■ キャリア教育

「何をしたいか」に注目して未来に進む。

さまざまなフィールドで活躍する卒業生を招き、自分の将来を単に「どの職業に就きたいか」だけではなく「何をしたいか」について考える機会を得ています。1年生の段階から、卒業生の熱いメッセージを受けて、一人ひとりが今の自分を見つめ、未来へ向けて力強く踏み出していきます。

1年 ようこそ先輩



入学から約半年を過ごした1年生が大学生との対話をとおして、これからの学校生活のヒントを得る貴重な機会です。入学して間もない生徒自身が対話の形式を企画して進めていきます。同じ校舎で過ごした先輩の言葉には説得力があり、生徒たちの「今」に響いていきます。

3年 キャリア教室



研究者や弁護士、医師、アナウンサーなど多岐にわたり活躍をする卒業生を招き、中学校段階でこれからの人生をどのように過ごしていくか考える活動の締めくくりとします。その語りは仕事内容にとどまらず、かつての中学校生活や現在の家庭のことまで豊富な経験談に基づいており、生徒自身の将来設計についても考えが深まっていきます。

■ 放課後学習支援

スタディコモンズ

学習に不安を感じる生徒を支えます。教員と生徒の距離が近い本校では、日常的に校内のいたるところで即席の質問会が開かれています。

更に、放課後学習支援「学習メンタープログラム」を利用することができます。静かに一人で学ぶ「サイレント自習室」のほかに、学びのロールモデルとなる大学生からのサポートを受けられる「メンター自習室」や、学びへの好奇心を引き出すために本校オリジナルのイベント・ワークショップを実施する「特別ルーム」が用意されています。本校の卒業生もいる大学生メンターとともに、芸術や探究学習にも力をいれている本校ならではのワークショップを体験できます。



■ 大学との連携

大学附属校を生かした学びに触れる。

理学部サマースクール



入学したばかりの1年生から3年生までの希望する生徒が、大学の施設を訪れ、研究の設備を体験し、科学への興味を広げるきっかけとなっています。中学校では体験できない、「一步先の実験」をとおして、楽しむことや主体的に学ぶ姿勢が大切だと分かった、と参加生徒は言っています。

目白で学ぶ1日



3年生が大学各学科の教員による特別講義から2コマを選択して受講します。専門的な内容を、中学生でも理解できるように説明することで、目白キャンパスでの大学生活を想像し、高校進学を目の前にした時期に自分の将来を見つめる良い機会になっています。

理科教育サポート

科学的探究に力を入れて取り組む中で、他大学も含めた理系の大学生を招き、「探究アドバイザー」として定期的に指導を受けています。

高大接続スプリングセミナー

春休みに高校生が日本女子大学の体験授業に参加します。各学科の特徴を知り、大学進学に向けて進路選択を考える機会となります。

科目等履修生

高校生が日本女子大学の提供する指定科目を受講して、大学生と共に学ぶ制度です。条件次第で「先取り単位」として認定されることもあります。



TEACHER'S VOICE

どこまでも広がる選択肢

教頭 國澤 恒久

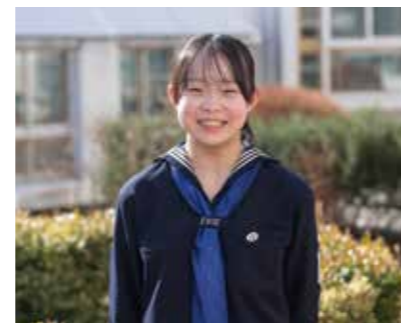
大学で何を学ぶのか、社会でどのような仕事に就くのか。これらは、生徒が中高6年間を過ごした先に待つ、自分の選択肢の中から絞り込む作業です。だからこそ本校は、この「生徒の選択肢」をより豊かにすることに力を注ぎます。社会への視野を広げる出会いに満ちた教育内容、自らを動かす源となる感情を伴う体験学習、そして、見つけた“好き”を突き詰めることができる学習環境のもとで、生徒は伸びやかに可能性の翼を広げていきます。



教室だけが、学校じゃない。 本物に触れた瞬間、学びがもっと深くなる。

2年 SECOND-YEAR STUDENTS 東北校外授業

伝統の東北校外授業。新幹線の車窓見学から始まり、国語や社会、理科などの授業で学習した内容を現地で体験します。文人の故郷や足跡を訪ね、自然の雄大さやその恵みとともに育まれた文化を学びます。伝統芸能や郷土料理も味わう豊かな学びの旅です。



STUDENT'S VOICE

2年生に進級して間もなく、校外授業の準備は始まります。何度も事前学習を重ね、その学びを現地へ行って確認します。新幹線での車窓見学から始まるこの校外授業では、歴史や文学を頭で理解するだけでなく、体験として深く受け止めることを目的とし、学びの凝縮された3泊4日を送ります。

3年 THIRD-YEAR STUDENTS 選択校外授業

「国際理解」「平和」「人間・文化」「環境」というテーマをもとに5コースが設けられた校外授業(2泊3日)。2年3学期に、生徒が自分の興味・関心に沿ってコースを選択します。1学期から事前学習を行い、夏休みの最後に現地で“本物”を学習します。



〔広島平和学習〕

原爆や戦争の悲惨さを伝える施設を見学し、被爆者の方との対話を通して、平和について学習します。これからの未来について考えるきっかけとします。



〔関西歴史探訪〕

旅行で行くことの少ない奈良・京都の歴史的建造物を中心に巡ります。座禅や写経など、心を鎮め、「無」の境地を体験します。



〔越後農村体験〕

日本有数の米どころで、農作業のお手伝いをしながら、農村生活を体験します。農村の暮らしから日本を見る目を養います。



〔北陸 自然と文化の旅〕

フォッサマグナに位置する糸魚川、雄大な森に囲まれた白川郷、伝統文化が花開く金沢を訪れ、自然・地域との共生について学習します。



〔東南アジア異文化交流の旅〕

多民族が共存し合う国々を訪れ国際感覚を養います。経済発展を遂げたシンガポールと隣国マレーシアを訪れ、マレーシアでは現地校との交流会も実施します。



STUDENT'S VOICE

時間が経過するほど平和への思いは薄れていくと言われますが、私は歴史の証を残し続け自ら知ろうとする人がある限り思いはむしろ濃く受け継がれていくと考えています。「過ちは繰り返させぬから」私たちはこの80年分の思いが込められた言葉を背負い、未来へ語り繋いでいくべきだと広島の旅をとおして実感しました。

話し合いから始まる小さな社会。

本校は学校生活教育に自治活動を取り入れた最初の学校です。「自ら考え、自ら学び、自ら行う」という教育理念のもと、生徒は活発な意見交換をとおして、自分たちの学校生活を作っていきます。生徒が主体となって取り組む活動をご紹介します。

四部・委員会

クラス全員が四つの部のいずれかに入り、毎日のクラスの仕事を受け持ち、より円滑な学校生活を目指して活動します。四部や委員会の責任者が出席して開かれる代表委員会では、学校生活における諸問題や生徒会規約について、活発に議論が繰り広げられます。学年の枠を超えての話し合いから生徒は自己と他者を学んでいきます。

学芸部 授業の用意や提出物集め、作品の掲示をします。授業の静粛を呼びかけ、終礼の司会を務めます。

生活部 クラス全員で分担して行う清掃が、しっかりおこなわれるように責任を持ちます。

体育部 出席簿の取り扱いに責任を持ち、体育に関する仕事をします。朝礼の司会や進行をします。

経理部 募金やベルマーク等、社会奉仕に関する活動をします。



様々な自治活動

1年生で初めてふれる「自治」は、校風が自由であるからこそ求められる「自律する」ことの意味を考えさせられるものです。3年間でさまざまな自治にふれて、リーダーシップを学んでいきます。高校ではそれを生かし、より実践的な挑戦へと進んでいきます。理想を現実にするために力を尽くすことで、大きな成長が待っています。



軽井沢三泉寮生活



1年生は夏休みに入るとすぐ、本学にゆかりのある長野県の軽井沢へ行き、夏季学寮として設置された三泉寮で2泊3日の共同生活を送ります。食事の準備や清掃など役割を分担して生活することで、協力しあうことの大切さを学びます。清々しい空気の中で学校の歴史の中にいる自分を知り、友だちとの関係を深め自治の精神にふれていきます。

自治選挙

2年生の3学期から、来年度の生徒会メンバーを選出する自治選挙が始まります。理想の学校とは何か、意見を述べることの意義とは、など長い時間をかけて話し合いを重ね、3年生になる上での自覚を育てていきます。この大切な時間は、生徒一人ひとりが最上級生としてどのように学校をまとめていくかの考え方につながっていきます。その後のわが校における自治の根幹をなしていくのです。



生徒総会

自治活動の中心にある生徒総会。全校生徒でこの1年の生徒会基本方針と十月祭基本方針を決定することから生徒総会は幕を開けます。自治活動の中心を担う3年生がより良い学校生活を目指して達成すべきたくさんの方の提案をし、各種委員会などからも様々な発信があります。生徒だけの手によって作られる、活気あふれる学校作りの基本となる会です。



STUDENT'S VOICE

広がり響き合うわれらの輪

この学校の自治を一文字で表すとすれば「輪」だと私は思っています。他者の挑戦に感化され、自らも未知の挑戦へ踏み出していく。その中でかけがえのない戦友や自分の新たな一面に出会い、また力強く歩いていける。そんなひとつの挑戦が波紋のように輪を広げ、その輪の中に皆が段々と足を踏み入れていく「挑戦の輪」の中で私たち生徒は日々好奇心と向上心を育てています。





「好き」を見つけ、夢中になる。
頑張るほど、面白くなる。

広大な敷地と校舎を生かし、23のクラブが活動しています。十月祭での成果発表や大会に向けて、生徒それぞれのペースで取り組んでいます。「クラス」ではないもう1つの居場所として、中学校生活の一部となっている生徒が多いです。協調性やリーダーシップなど、クラブ活動をとおして多くのことを学んでいきます。



文化系

- 文芸 週2
- 茶道 週2
- 物理化学 週2
- コーラス 週2
- 軽音楽 週1
- 家庭科 週2
- 演劇 週2
- 書道 週1
- 社会科研究 週1
- 生物・天文 週2
- 弦楽合奏 週3
- イラスト 週2
- インターナショナル 週1
- ミュージカル 週2

STUDENT'S VOICE

表現する喜び、尊重する心



本校では14の文化系クラブが、それぞれの「好き」をのびのびと表現しています。十月祭での展示や公演を完成させ、互いの「好き」に触れる時間は、認め合って尊重する大切さを教えてくれます。

運動系

- 体操 週3
- バレーボール 週3
- バドミントン 週3
- 水泳 週3
- ソフトテニス 週3
- バスケットボール 週3
- 卓球 週2
- 陸上競技 週3
- 硬式テニス 週3

STUDENT'S VOICE

切磋琢磨の先にある青春



9つの運動系クラブが日々の練習をとおり、互いに切磋琢磨しながら絆を深めています。高みを目指して練習している時間や、結果が形となった時は、中学校生活の青春の1ページとなりました。



もみじ劇場

校舎中央にある吹き抜けの劇場は、昼休みの生徒の憩いの場です。十月祭では軽音楽クラブのライブ会場になります。



食堂

カフェテリア方式の明るい食堂。日替り定食や種類など、メニューも充実しています。



西生田成瀬講堂大ホール

1800人規模の大ホールは様々な式典や講演会・学校説明会のほか十月祭のクラブ発表にも使用します。400人規模の2つの小ホールは学年単位の講演会や話し合いなどに使用します。



体育館

体育館は3つあり、火曜日の朝礼、体育の授業のほかに各運動クラブや球技会にも使用します。



グラウンド

大きな空の下、緑の風が吹き抜ける運動場です。放課後は陸上クラブが活動しています。



屋内プール

設備が整った25mの温水プールです。水泳の授業や水泳クラブの活動で使用します。



テニスコート

森の中にオムニコート4面、クレイコート2面があります。硬式テニス、ソフトテニスクラブの生徒達が技術向上を目指し、元気に活動しています。



図書室

開架式で図書委員が自発的に運営しています。図書は50,000冊を収蔵。新刊書も随時購入しています。

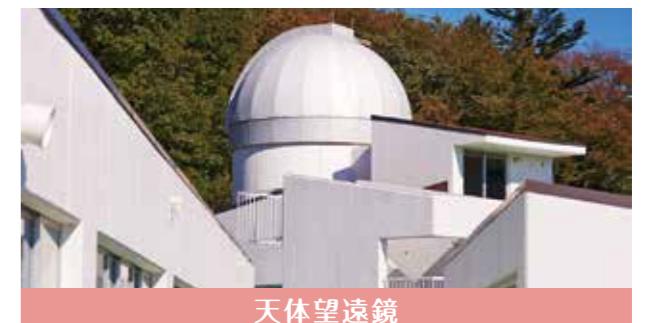


四季の移り変わりが美しい、

広大な森に囲まれた

静かな環境。

緑豊かな自然に抱かれた校舎やグラウンドで、勉強や芸術、スポーツ、そして自治活動や学校行事を通して、生徒たちは日々新しい発見や感動と出会います。生徒一人ひとりにとって、青春を謳歌できる思い出深い学校生活をサポートします。



天体望遠鏡

校舎に備え付けられた天文台には直径25cm、長さ2mの天体望遠鏡があります。毎週、生物・天文クラブが観測を行っています。



SAKU_Lab / LEAF_Lab

可動式の椅子と机、壁全面に完備した複数のプロジェクターを用いて、生徒の話し合いや発表を自由に行える教室です。カラフルな室内は、生徒の創造性をわきたえます。



理科室

中学生用に4つの理科実験室を備えています。理科の授業は、すべて理科室で行い、毎時間実験や観察に取り組みます。顕微鏡は1人1台、完備しています。

多様な進路

日本女子大学への進学

日本女子大学への進学を希望する生徒は原則として推薦されます。授業見学や説明会など大学での学びや生活を知る機会が豊富に用意されています。高校1年次の各学部概要説明に始まり、2年次には学科説明会、特別講義や研究室訪問なども行われます。その後、希望調査を経て、高校3年の1月に推薦入試を行います。日本女子大学は8学部16学科を擁する総合大学であり、例年75～80%の生徒が自分の希望に合う学科を選び、進学しています。定員を超過しなければ、自分の希望する学科に進学することができます(一部、進学のための要件が設定されている学科があります)。

他大学への進学

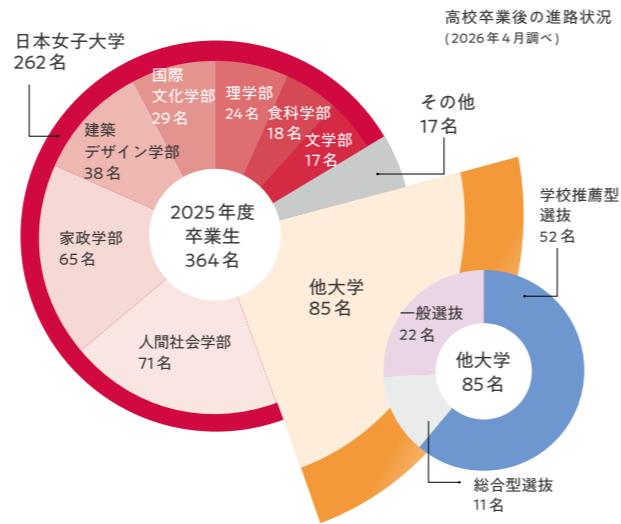
医学や法学、芸術など、自分の目標のために日本女子大学以外の大学を希望する生徒は25%ほどです。このうち半数以上は学校推薦型選抜(指定校制と公募制)で合格しています。本校のカリキュラムで学び「自学自励」の精神を身につけた生徒たちが、多くの大学で評価されています。

過去3年間の既卒者を含む合格実績

一部抜粋 ()は推薦合格者数

国公立大学	2023	2024	2025
東京大学		1	
東京科学大学	1(1)	1(1)	
お茶の水女子大学		1	1
東京外国語大学		1	
東京学芸大学			1
東京藝術大学		1	
横浜国立大学			1
東京都立大学			1
横浜国立大学		1(1)	
北海道大学	1		1
東北大学	1		
大阪大学			1
北見工業大学	1		
新潟大学			1
富山大学		1	
香川大学			1
防衛医科大学校	1		1
国立看護大学校	1		

私立大学 医歯薬系	2023	2024	2025
大阪大学			1
岩手医科大学			1
北里大学	2(1)	3(2)	
杏林大学			1
慶應義塾大学	1		1
国際医療福祉大学	1		1
埼玉医科大学	1(1)		1
順天堂大学	1		
昭和医科大学			1
聖マリアンナ医科大学	1(1)		1
帝京大学	1	1(1)	
東京医科大学		1(1)	
東京女子医科大学	1	3(2)	
東邦大学	1		
東北医科薬科大学	1		1
獨協医科大学	1		1
日本大学			1
日本医科大学	2	1	1
昭和医科大学		1	2(2)
日本大学	3		4(1)
日本歯科大学	1		1(1)
順天堂大学		1	
東京薬科大学	2(2)	2(1)	2(2)
東京理科大学			1(1)
明治薬科大学	1(1)	2(1)	



併願制度

日本女子大学への推薦資格を保持したまま、他大学を受験(学校推薦型選抜を除く)することができる制度です。2026年度入試では以下の場合について併願が可能となりました。

- 国公立大学及び各省庁大学校の受験
- 私立大学は、日本女子大学にない8学部(医・歯・薬・看護・獣医・法・芸術・体育)のいずれか一つの学部の受験

私立大学	2023	2024	2025
慶應義塾大学	19(5)	11(8)	12(5)
早稲田大学	12(1)	4(1)	9(1)
上智大学	11(6)	10(6)	8(6)
東京理科大学	11(5)	5(4)	5(5)
学習院大学	3(3)	3(3)	7(4)
明治大学	11	4(1)	7(2)
青山学院大学	5(3)	10(6)	7(5)
立教大学	9(3)	7(5)	8(3)
中央大学	15(9)	16(11)	17(11)
法政大学	10(3)	4(1)	1(1)
国際基督教大学		1	
東京音楽大学			1
武蔵野美術大学	3	8	1
関西大学			1
関西学院大学			2
立命館大学			1

2025年度学校推薦型選抜(指定校制)一覧<一部抜粋>

慶應義塾大学	理工学部(4)/商学部(1)
早稲田大学	基幹理工学部(1)
上智大学	法学部(3)/外国語学部(2)
東京理科大学	理学部第一部(2)/工学部(1)/薬学部(1)/先進工学部(2)/理学部第二部(3)
学習院大学	法学部(2)/経済学部(2)/理学部(4)
明治大学	理工学部(2)
青山学院大学	経済学部(1)/法学部(1)/経営学部(1)/理工学部(1)/社会情報学部(1)
立教大学	観光学部(1)/現代心理学部(2)
中央大学	法学部(5)/経済学部(1)/先進理工学部(2)/基幹理工学部(1)/総合政策学部(1)/国際経営学部(1)/文学部(1)/グローバル教養学部(1)
法政大学	観光学部(1)/現代心理学部(2)
立命館大学	理工学部(1)
北里大学	医学部(3)/獣医学部(1)
昭和医科大学	歯学部(2)
東京歯科大学	歯学部(1)
日本歯科大学	生命歯学部(1)/新潟生命歯学部(1)
明治薬科大学	薬学部(2)
昭和薬科大学	薬学部(2)
東京薬科大学	薬学部(2)/生命科学部(1)

日本女子大学へ

目白キャンパスで多様な学びを

8学部16学科がそろった文理融合の女子総合大学

少人数による教育で卒業研究(卒業論文・卒業制作)全員必修

山手線内の都心でありながら緑豊かな目白キャンパスで4年間学ぶ

詳細は日本女子大学の
大学案内または
Webサイトをご覧ください。



日本女子大学

家政学部

- 児童学科^{※1}
- 被服学科^{※2}

文学部

- 日本語日本文学科
- 英文学科
- 歴史文化学科

理学部

- 数物情報科学科
- 化学生命科学科

人間社会学部

- 現代社会学科
- 社会福祉学科
- 教育学科
- 心理学科^{※3}
- 国際文化学科
- 国際文化学科

建築デザイン学部

- 建築デザイン学科

食科学部

- 食科学科
- 栄養学科

経済学部(仮称)

- 経済学科(仮称)

2027年4月設置構想中

日本女子大学 大学院

家政学研究科

- 人間生活学研究科
- 文学研究科
- 人間社会研究科
- 建築デザイン研究科
- 理学研究科
- 食科学研究科(仮称)

2027年4月設置構想中

※1 2028年度より児童学科を基礎とした「人間科学部人間発達学科(仮称)」を設置構想中
 ※2 2028年度より被服学科を基礎とした「ファッションデザイン学部ファッションデザイン学科(仮称)」を設置構想中
 ※3 2028年度より心理学科を基礎とした「人間科学部心理学科(仮称)」を設置構想中

就職状況と主な就職先

日本女子大学の2025年度の実就職率は約99.5%(2026年3月現在判明分)、就職に強い大学として高い評価を得ています。また、内定先に対する満足度でも圧倒的多数の学生が「満足」という感想を抱いています。

就職率

2026年3月卒業生実績

99.5%

内定先への満足度

2026年3月卒業生実績

97.9%

有効回答率81.4%

【主な就職先】 ※()内の数字は人数

日本生命(14)/リソナ(8)/ソフトバンク(6)/日本航空(6)/NEC(5)/日本IBM(5)/JR東日本(5)/三井住友海上火災保険(5)/住友生命(5)/ANA(4)/明治安田生命(4)/日本郵便(4)/日本銀行(3)/SMBC日興証券(3)/横浜銀行(3)/大和証券グループ(3)/みずほフィナンシャルグループ(3)/富国生命(3)/積水ハウス(3)/大成建設(3)/清水建設(3)/日本総合研究所(3)/大塚商会(3)/富士ソフト(3)/NTTドコモ(3)/COM(3)/東京電力ホールディングス(3)/セコム(3)/TOPPAN(3)/麒麟ホールディングス(3)/帝国ホテル(3)/エイチ・アイ・エス(3)/みずほ証券(2)/ジェシービー(2)/中央労働金庫(2)/ゆうちょ銀行(2)/旭化成ホームズ(2)/ミサワホーム(2)/住友林業(2)/NHK(2)/リコーITソリューションズ(2)/SCSK(2)/NTT東日本(2)/電通総研(2)/アクセンチュア(2)/DNP(2)/日本通運(2)/東急百貨店(2)/成城石井(2)/ニトリ(2)/ニュー・オータニ(2)/H.I.S.ホテルホールディングス(2)/三菱UFJ銀行(1)/三井住友銀行(1)/楽天カード(1)/東京海上日動火災保険(1)/スウェーデンハウス(1)/三井不動産(1)/西村あさひ法律事務所・外国法共同事業(1)/トーマツ(1)/楽天グループ(1)/TBSテレビ(1)/森永乳業(1)/日本食研ホールディングス(1)/伊藤園(1)/カルビー(1)/サントリーホールディングス(1)/ファンケル(1)/オルビス(1)/東武百貨店(1)/高島屋(1)/良品計画(1)/地方公務員(90)/国家公務員(16)/公立幼稚園教員(5)/公立小学校教員(29)/公立中学校教員(18)/公立高等学校教員(4)

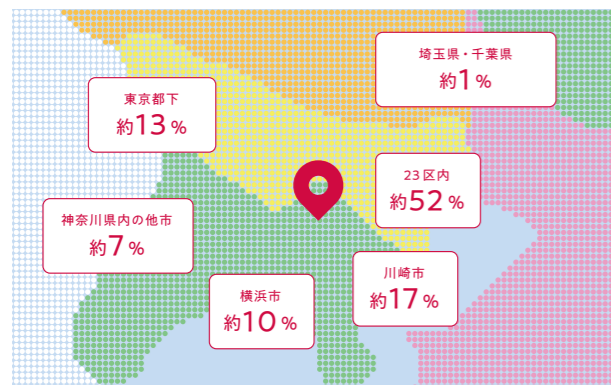
※教員は期限付任用教員を含む

通学圏

東京・神奈川を中心に、さまざまな地域から集まっています

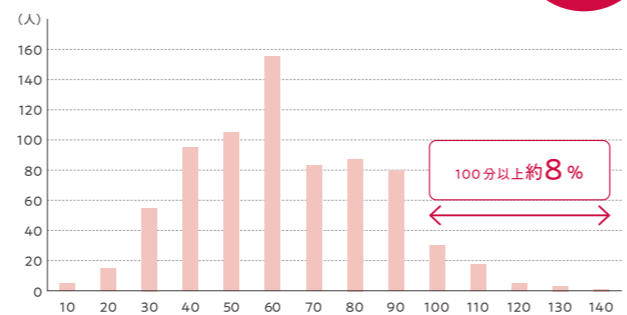
通学圏は東京都区内、東京都下、横浜・川崎地区を中心に広い範囲に及んでいます。多くの生徒が小田急線を利用し、最寄駅の読売ランド前駅から徒歩約10分で「森の中」の中高校舎に到着します。都心方面からの電車は下り線なので混雑も少なく、新宿から最寄駅までの所要時間は約30分(快速急行利用)です。

附属中学校生徒の通学圏 (2025年度)



通学時間

30～90分が標準的な通学時間です。100分以上の生徒も約8%います。始業は8時50分で、遠方からも通学しやすくなっています。また、冬季(11～3月)は最終下校を夏季より30分早めて17時としています。



防災と防犯の取り組みについて

災害時においてさまざまな緊急避難経路を把握できるように、全校生徒対象の避難訓練を年に数回実施しています。さらに有志生徒によるAEDを使った人命救助のための講習を行っています。災害時少なくとも3日間は校内で避難生活ができるように、食糧、飲料水、サバイバルブランケット、毛布等を備蓄しています。また、生徒の安全のために正門には警備員が常駐し、巡回警備を行っています。



Q 厳しい校則はありますか

A 中学生は標準服としてセーラー服を着用すること以外に、服装や持ち物について「生活上のきまり」という最低限のルールを学校で定めています。個々の生徒がどうすべきか考え行動することを大切にする学校でありたいと思っています。そのため、生徒手帳にある生徒会規約は、毎年3学期に1年間を振り返って改正案について議論します。この規約が生徒全員による自治活動の根幹となっています。

Q クラスの人数とクラス編成を教えてください

A 中学は42名・6クラス、高校は46名・8クラスです。高等学校から約130名が新しく入学します。中学はクラスの約4割が附属豊明小学校から、約6割が他の小学校から入学し、一からクラス作りを進めていきます。行事を経験するにつれて出身校に関わらずクラスがまとまり、自分の居場所が見つかります。

Q 長期休業中に講座は行っていますか

A 普段の授業では取り上げられなかった内容をテーマにした「特別講座」を実施しています。時間に余裕があるからこそ1つのテーマを深めて学ぶ機会をもつことができます。講座は本校教員が主催するものから、大学の教員によるもの、外部企業によるもの等、多岐に渡ります。教科横断型で行ったり、複数学年で交流しながら行ったりもしています。

Q 昼食はどのようにしていますか

A 自宅からお弁当を持参した生徒は、教室や屋上など校内の好きな場所で食べることができます。中1の5月以降から、毎日自由に食堂が使えるので、週の中でお弁当と食堂を併用している生徒が多いです。また、食堂にはFamily Martの自動販売機があるので、そこで購入して教室などで食べることもできます。

Q クラブ活動について教えてください

A 23のクラブが放課後を中心に活動しています。クラブへの加入は必須ではありませんが、約95%の生徒がいずれかのクラブ活動に参加しています。十月祭(文化祭)がクラブ単位で発表や試合の機会になっています。高等学校では更にクラブ活動の幅が広がり、運動系クラブが16、文化系クラブが23あります。

Q 校内を見学する機会はありますか

A 学校説明会や校舎見学会では、在校生の案内による校内見学をすることができます。年2回ある授業見学会では教員の案内で平常授業の様子を見学します。また、10月以降1月の入試直前まで、平日に各回3組の少人数で個別に校内案内を行っています。

Q 学費や教材費について教えてください

A 2026年度の学費(1年次)は以下の通りです。

入学金	250,000円	入学手続きの際に納入	施設設備費は、所定の期日までに入学取り消しの手続きがなされた場合は返金します。
施設設備費	102,000円(1期分)		
授業料(年額)	511,000円	4月入学後に納入	※校納金の内訳 PTA入会金3,000円、 PTA会費15,000円、 自治会・クラブ費5,000円、 予納金50,000円、 ICT教育推進費50,000円 旅行積立金40,000円
施設設備費	202,000円(2・3期分)		
その他校納金(年額)	192,000円		
納入合計	1,257,000円		

Q 入試での併願優遇制度はありますか

A 一般入試の第2回(2月1日午後)以降の査定において複数回受験者をボーダーライン付近で合格にしています。2027年度入試は、下記のとおりです。

	第1回	第2回	第3回	第4回
日時	2月1日・午前	2月1日・午後	2月2日・午後	2月3日・午前
定員	約85名	約30名	約30名	約15名
試験教科	国語・算数 理科・社会	算数	国語・算数	国語・算数 理科・社会

日女生の1日 STUDENT LIFE



8:40 [朝礼]

毎週火曜日に体育館または放送にて、生徒の司会進行のもと行います。生徒会総務や委員会などから発表があり、自分たちで学校を動かしていく「自治」を感じる場面です。

8:50 [1時間目]

午前の授業は4時間です。夏時間は50分授業、冬時間は45分授業です。

12:40 [昼休み]

昼食は教室や中庭でお弁当を食べたり、自動販売機でデザートを購入する生徒もいます。1年生から食堂が利用できます。

13:30 [5時間目]

午後の授業は2時間です。各教科の学習で基礎を固め、「私とは何者か」を語る女性へ成長していきます。

15:45 [放課後]

放課後にはクラブ・委員会が行われます。23種類から好きなクラブを選んで活動しています。学習支援教室も実施します。

17:30 [下校]

夏時間の最終下校は17:30、冬時間の最終下校は17:00です。クラブによっては延長して活動をする場合もあります。

標準服 SCHOOL UNIFORMS



夏服

冬服

スラックス



通学鞆・リュック
どちらも選ぶことができます。機能的なリュックは背負いやすく、鞆はつやがありどちらもJWUの刺繍があります。

鷲の腕章

冬服の左袖に鷲と桜楓と3本ラインの刺繍の憲章がついています。セーラー服はパンツスタイルでも似合うデザインであり、女性らしい品格が感じられ、生徒の誇りとなっています。



白ネクタイと紺ネクタイ
冬服の時の式典では白ネクタイを着用します。



高校式服



高校式服

式典では、式服(ブレザー、スカートまたはスラックス、白無地のブラウス)を着用します。通学時の服装は生徒主体で「内規」を作っています。例えば、スカートは紺・黒・無地のプリーツがあるものといったルールです。どちらも学校指定のものではなく、生徒が自由に選びます。

年間行事 THE SCHOOL YEAR CALENDER

<p>4 April</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入学式 ● 創立記念日(20日) ● 生徒総会 ● 新入生歓迎 ● 親睦会 	<p>5 May</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運動会 ● PTA総会 ● 教育懇談会 ● 中間テスト 	<p>6 June</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 読書週間・読書会 ● 成瀬仁蔵 ● 成瀬仁蔵 生誕記念日(23日) 	<p>7 July</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 期末テスト ● 軽井沢三泉寮生活 [1年生] ● TOEFL Junior® TOEFL Primary® ● 歌舞伎鑑賞教室 [2年生] 	<p>8 August</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理学部サマースクール(目白にて) ● チェルトナム レディースカレッジ サマースクール[3年生] ● カナダ語学研修 [3年生] 	<p>9 September</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選択校外授業[3年生] ● 東北校外授業[2年生] ● 大学教員による授業(目白にて)[3年生] ● ようこそ先輩[1年生] 	<p>10 October</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 十月祭(文化祭) ● 中間テスト 	<p>11 November</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 読書週間・読書会 	<p>12 December</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 期末テスト ● 音楽会 ● スキー教室 ● TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS [2年生] 	<p>1 January</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自治選挙 [2年生] ● 成瀬仁蔵 告別講演 記念日(29日) ● 日本漢字能力検定 ● 実用英語技能検定 	<p>2 February</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 能楽鑑賞会 [3年生] ● キャリア教室 [3年生] ● 国際理解教室 [2年生] ● 年間研究発表会 ● 期末テスト 	<p>3 March</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 成瀬仁蔵命日(4日) ● 球技会 ● 生徒総会 ● 卒業式 ● 春休み英語集中プログラム [1年生]
---	--	--	---	---	---	--	--	---	--	--	--